

はだ ま

 たらぎ議会だより

3月 定例議会

医療費中学生まで**無料** …… P2~3

平成25年度 **主軸事業は** …… P4~5

一般質問 8議員が
町政を問う! …… P6

TPP意見書再提出 …… P14



No.89

平成25年5月9日
熊本県多良木町議会発行

楽しい、みしい遠足(多小)

宇宙ランド

まで無料!!

での小学6年生から中学3年生までになりま
万円交付されます。

平成25年度予算（歳出の主なもの）

- ★光ブロードバンド整備事業補助(槻木地区) …… 1億円
- ★地域で生き抜くプロジェクト推進事業 …… 1,145万円
- ★児童福祉総務費(出生祝い金) …… 850万円
- ★たらぎっ子学童クラブ施設建設工事 …… 3,500万円
- ★乳幼児医療費扶助(中学校3年生まで拡大) 4,244万円
- ★黒肥地増谷地区用水施設建設工事 …… 8,500万円

黒肥地増谷地区
用水施設
建設工事



- ★多良木町緊急地域
経済対策事業(住宅リフォーム) …… 1,000万円
- ★町営住宅小林第2団地建設工事 …… 6,400万円
- ★多良木小学校屋外プール改築工事 …… 1億4,500万円
- ★黒肥地石倉改修事業費 …… 1億400万円
- ★地方債償還金元金 …… 6億5,077万円
- ★林道槻木南線・林道槻木荒水谷線舗装工事 7,180万円

林道槻木南線



林道槻木荒水谷線

平成25年度 一般会計

総額62億7千8百万円

前年度比
1.8%増

平成25年第2回定例会は、3月7日から18日までの12日間開催され、条例等19件、同文議決2件、24年度補正予算6件、25年度当初予算7件、選任同意2件が提案され、慎重に審議した結果、原案どおり可決・同意されました。一般質問には8名が登壇し、町長の考えを質しました。

4月から

中学3年生

乳幼児等医療費（保険診療）の助成を、今ました。また、出生祝い金は、第一子より一律10

臨時議会

平成25年第3回臨時議会は、3月28日に開催され、国の緊急経済対策に伴う平成25年度事業前倒し等の補正によるもので、条例1件、各会計補正予算5件が提案され、慎重に審議した結果、原案どおり可決されました。

平成24年度一般会計

4億2,215万円を追加し、総額68億9,204万円

〈歳出の主なもの〉

- ◎ 堆肥センター有機物処理利用施設建設事業 …… 5,500万円
- ◎ 社会資本整備総合交付金道路事業 …… 1億2,932万円
- ◎ 町営住宅小林第2団地建設事業 …… 6,464万円
- ◎ 多良木小学校屋外プール改築事業 …… 1億7,902万円

*この4事業を含め、14事業を平成25年度へ繰り越しました。

国民健康保険特別会計

567万円を追加し、総額14億7,097万円

〈歳出の主なもの〉

- ◎ 一般被保険者療養給付費負担金 …… 2,300万円

下水道事業特別会計

170万円を減額し、総額5億7,752万円

後期高齢者医療特別会計

291万円を減額し、総額1億2,851万円

平成25年度 一般会計

2億9,737万円を減額し、“総額59億8,062万円”

固定資産評価審査委員会委員選任

【再任】
尾前 延子
(多良木)

尾前延子氏（多良木）が平成25年3月31日を持って任期満了となるため再任しました。

人権擁護委員推薦

【再任】
緒方 昌美
(黒肥地)

緒方昌美氏（黒肥地）が平成25年6月30日を持って任期満了となるため推薦しました。

農業委員会委員推薦

【新推薦】
深水 良子（多良木）
廣田 和代（黒肥地）

深水良子氏（多良木）・廣田和代氏（黒肥地）の両氏を推薦しました。

事業を決めました！

黒肥地 石倉改修工事
1億400万円



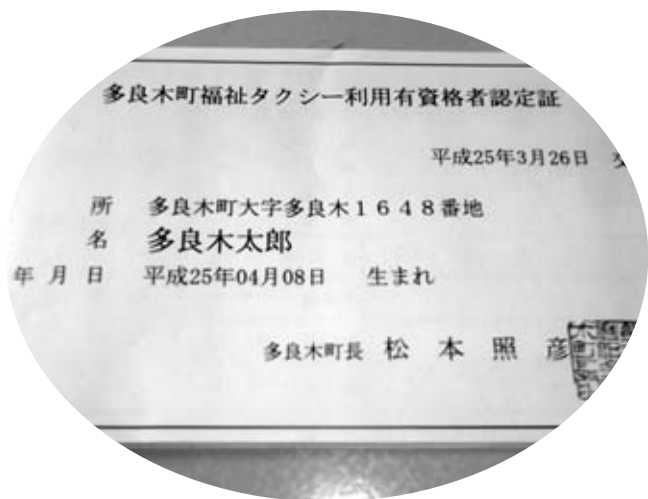
大久保台地から発掘された遺跡資料や本町にある歴史的な資料を展示し町外からの呼び込みをはかるために改修します。

多良木小学校屋外プール改築工事
1億7,902万円



当初予算成立後3,000万円を追加し浄化機能のついた飲料水としても使用可能なものとして実施します。

福祉タクシー券発行事業関連費
591万円



障がい者助成約260万と高齢者福祉事業300万を予算としタクシー券を給付します。

たらぎっ子学童クラブ施設建設工事関連費
3,500万円



老朽化した旧多良木高校講堂から同町民広場のステージ右側に57坪の学童クラブを新築します。

平成25年にこんな

消防団拠点施設整備工事費
3,400万円



消防団再編成等により町内3ヶ所に建設
します。
(写真は久米 小田原建設予定地)

木造住宅建築支援事業
500万円



町内の木材需要拡大のため町で製材され
また、町の建築業者により建てられるもの
に対し上限100万円を限度として1/2の補助
をします。

地域で行き抜くプロジェクト推進事業関係費
1,145万円



リフォームした家に公用車を配置しそこ
に支援員を迎えて槻木集落の様々な問題に
取り組み限界集落の再生に向けたモデル事
業を計画します。

町営住宅小林第2団地建設事業
6,464万円



黒肥地の小林第2団地を前年度に引き続
き今年度も4棟・4戸建設します。

8議員が 町政 を問う！



瀬崎哲弘議員

Q 町長の手腕とモチベーションは

A 一次産業と雇用の場の創出を

質問 三期目の町政を担うトップとしての決意と目指すものは。「勝って兜の緒を締めよ」という言葉があるが、

やり残した仕事で終るのか、もっと町民が求める町づくりを目指すという意欲で働かれるのか、町長の手腕とモチベーションが気にかかるが、考えを伺います。

町長 選挙期間中、町民の方で



選挙後、初登庁の松本町長

「何もしていない」という声を聞いていますが、自分としては「何もしていない」のではなく町民の皆様には周知させるのが下手だったと思っています。また、町の活性化が進んでいないといわれましたが、今後の取り組みべき姿を見立てており、活性化していくためにも一次産業に力を入れ、また、雇用の場を創出し、所得を増やすよう頑張っていきたいと思っております。

Q 六次産業は加工技術と販売への力点が必要

A 専門的な人材を求める必要性を感じている



期待される六次産業

質問 六次産業への期待と具体的な実践内容は農業生産を安定させ、加工技術・販売へと力点をおいて六次産業といえるもので、口でいうほど簡単なものではないと思いますが、考えは。

松崎 農林課長

六次産業として農家がいきなり加工部門に携わっても難しいと実感しています。専門的

な加工・販売と知識を持った人から指導を受けながら育てあげたい。そのためにも指導者の人材を求める必要があるかと思えます。

全ての質問事項

① 3期目の町政を担うトップとしての決意と目指すものは

② 農業振興について

③ 誘致企業への取り組みは



皆越秋廣議員

Q 食物アレルギー対策は

A 除去の給食を実施

質問 都市部の小学校で、学校給食による食物アレルギーで児童生徒の死亡事故が発生している。食物アレルギー対策についての考えは。

宮本 教育振興課長

給食センターで、食物対応マニュアルを作成しています。新年度初めに各学校の調査を実施します。申し出があった児童生徒については、食物アレルギー

除去の給食を実施しているところですが。

溝口教育長

マニュアルを中心に献立・調理、また食事についても、一人一人の子供について目を向けて給食指導をしなければいけないと思います。今後も学校の現場で、連携を十分にやっけて、事故のないように気を付けていきたいと思っています。



卵アレルギー生徒用の給食

Q ふるさと宅急便の復活は

A 来年度中には実施を

質問 高齢者を抱える家庭の住宅事情の改善で、増改築に対する固定資産税の減免等があるが、減免には条例等の改正が必要と思われる

Q 減免には条例等の改正が A 了解を得ながら変更を

る。計画の考えは。

町長 減免をするには条例等の改正が必要です。今後はもちろん、いろんな場で協議・議論をして了解を得ながら

ら条例を変更し、高齢者の住宅の増改築には減免措置を図っていき

たいと思います。



以前に実施されたクーポン便

だく本町出身の方々とのつながりを考えたときに、来年度中には実行したいと思っています。

質問 ふるさと宅急便の復活とあるが、いっ、どのような方法で実施されるのか。
町長 農産物の拡販と、ふるさとを想っていた

全ての質問事項

- ① 教育振興について
- ② 町長の選挙公約による政治姿勢について



源嶋たまみ議員

Q 農業振興の具体的な政策は

A JAと協力し利益の出る農業振興をめざす

質問 町長のマニフェストに第一次産業（農林業）の復活とあるが、どのような方向性をもって、農業振興に取り組まれるのか、また、具体的な政策の考えは。

町長 儲かる農業でなくってはならない。国県でもサラリーマンから農業に移ってくる人たちを応援するような政策を行っている。県のフードバレー構想を活用し、農業の振興に努めていきたい。

若い人たちが頑張っていることを肌で感じている。町で出来ることを支援していきたい。

松崎 農林課長

「人・農地プラン」

という計画を作成し、24年度は集落で行い25年度は町全体で行い補助事業に取り組める体制を作っていく。また、契約栽培が数品目あるので、この振興

と25年度から畜産の部分で導入事業を始めるので、系統改良も実施していきたい。営農指導についてはJAが中心で行っているが行政でもそれを補充していく。

Q 「ふるさと会」への対応は

A 参加を検討し物産の出品も手配したい

質問 町で高額の資金を使いアンテナショップをつくるより、人吉球磨全体から関東にいる多くの人をアンテナにし、「ふるさと会」

だと思えますが、販売商品の手配等、要望があった場合、対応する考えは。

質問 JAとのつながりを大事にしたいといわれ、また、行政サイドで振興作物・契約栽培といわれるが、多忙な行政が販売先を探されるのか、それともJAに委託されるのか。

振興作物を選定する場合、売れ筋や、加工の

しやすさなど、今後、JAとの話し合いを密にし、協力していく体制づくりが望ましいと思うが。

松崎 農林課長

補助事業も同じだが、営農指導や販路拡大についても事業が軌道に乗るまで行政が協力し、

松本 企画観光課長

「東京球磨ひとよし故郷会」から、「町の特産品を出せないか」と



「ふるさと多良木えびす会」風景

の依頼とともに、案内状を頂いています。昨年12月には人吉市と湯前町が参加され、この会は球磨人吉全域に関することなので、今後の検討事項として、また情報収集の場として商工会や物産館にも参加を呼びかけたい。

町長 「ふるさと会」

に参加し話を聞くことは大切で次回はスケジ

農業についてはJAが本業なので、機会あるごとに話し合っていきたい。



「人・農地プラン」会議風景

ュールが合えば参加したい。町の物産については、呼び掛けて手配し、また、町が買い上げるという案も参考にしたい。

全ての質問事項

- ① 農業の振興について
- ② 関東における「ふるさと会」について
- ③ 基金について



坂口幸法議員

Q

湯前・水上の首長を上球磨に高校を残そう協議会の役員に

A

要請をし、組織の強化に努力していきたい

質問 県教委は、再編・統合に係る実施計画については今後の入学者数の動向等を踏まえ、後期の取組期間の最終年度である平成27年度までに策定するとしている。いわゆる統廃合とする1校の決定を先送りされた状況下にあります。平成25年度は本町及び上球磨地域にとっては、大変重要な年度、且つ正念場である年度と思われま

町長 現在、湯前・水上の首長並びに議長も2回、県教委への要望活動に協力いただいでいて、深い理解を得ています。今後は、お二人に要請し、組織の強化に努力していきたい。



甲子園を目指す多良木高校野球部（城南大会1回戦）

Q 木質バイオマス発電事業の取り組みを先進的な考えを持って取り組みたい

質問

「再生可能エネルギー法」が、平成24年7月1日から施行されました。

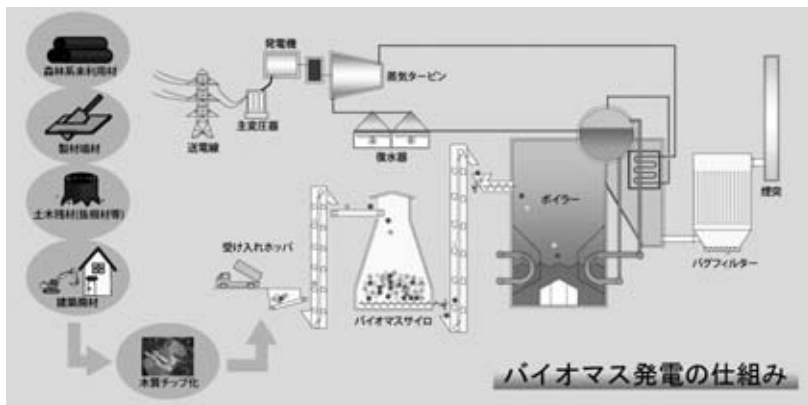
①太陽光、②風力、③水力、④地熱、⑤バイオマスの5分野から発電された電気事業者が買取ることが義務づけられています。この⑤バイオマスのなかで木質バイオマスと呼ばれる未利用材等を、チップ化したものを利用した発電事業を本町としても取り組むべきでは。

町長 森林の持つ公益性、それを活かすためにも本町には町有林がある訳で、特に自治体が環境問題等々にも先進的な考えを持って、

実施していかなければならないと思っております。ただ、安定的な木質チップの確保やチップの購入価格の問題や採算性の問題等、様々な課題はありますが、取り組み方向でいろいろ資料等を収集し、また現地視察を実施していきたいと思っております。

全ての質問

- ① 県立高校再編整備計画について
- ② 観光化の推進について
- ③ 木質バイオマス発電事業について
- ④ ダムによらない治水対策事業について





吉瀬浩一郎議員

Q 町長在任8年、
若者人口850人が減少している

A 今後も企業誘致の努力はしていく

質問 町長の公約に「定住と就業」とあるが8年の長きにわたる松本町政の間、公約が実現されておらず、一件たりとも企業誘致ができていないのは。

町長 平成24年度は企業誘致のために2社（縫製工場・農産物取引企業）の訪問をしている。

質問 町長就任の平成17年から平成25年までの8年間、20歳から49歳までの若い人たちが850人減少している。若い人の定住という町長の政策は失敗したのではないか。

町長 若者が町に残る、定住人口が増える政策は必要である。雇用の場、就業の場を創出していくことが大切、企業誘致の努力はする。

質問 本町出身の日本武道具センター社長が進出の相談にこられた折、それを当日知ったにもかかわらず、町長はなぜご自分で社長を訪ねられ、膝詰めで町の誘致を相談されなかったのか。

町長 熱意が足りないと言われればそれまでだが、条件等、どちらが優位か総合的に判断されたと思う。

町長 熱意が足りないと言われればそれまでだが、条件等、どちらが優位か総合的に判断されたと思う。



8年間、企業誘致未だならず(南九州木材流通団地)

Q 大臣及び国会議員への要望の席に
本町のみ不在とは
A 町長選挙が迫っていたので欠席した

質問 町長は予算獲得のために重要と思われる農林水産大臣及び国土交通委員長への要望に出席されていない。8町村長は全員出席されているが、日程は誰が決められたのか。

町長 日程は町村会副会長と私が決めた。町長選挙が迫っており出席できなかった。

質問 現職は公務優先でなければならぬ。町長には毎月高額の給与が支払われている。大臣や国会議員の頭にしっかりと名前を刷り込んだ町村と、そうでない町にはその後、大きな差が出てくる。本

町長 日程は町村会副会長と私が決めた。町長選挙が迫っており出席できなかった。

町は重要なタイミングを失し、欠席は結果的に不利益をもたらしている。

町長 要望の折の出席は、優先すべきものであったと思っている。町の要望は今後もきちんとやっていく。

全ての質問事項

- ① 企業誘致について
- ② 町長の上京について
- ③ 火葬場の利用について



町村会で要望された橋梁の架け替え工事

町長選挙が迫っており出席できなかった。

町長選挙が迫っており出席できなかった。





村山 昇議員

Q 耕作放棄地の有効活用とは

A 特産物の開発で地域農業の活性化

質問

町長の3期目の

公約の中で耕作放棄地の有効活用について、そこで収穫した農産物を使って高付加価値の特産物等を開発するところがあるが、農業関係者は後継者等が少ない状況であり、町内でも農地の耕作放棄地等が多くなっていると思う。放棄地を再利用して収穫する農産物・特産物とは。

松崎 農林課長

本町の農産物の中で特産物とはJAの共販で市場等に出荷されている農産物を特産物と思っています。メロン・イチゴ・キュウリ・トマト・花き・ナス・インゲン・スナップエンドウ・ブロッコリーを推進しています。果樹では、栗・梨・桃等を特産物と思っています。



おいしいイチゴの選別

ます。

町長 特産物をいろいろあげましたが、そのまま出荷するのではなく加工できるものは付加価値をつけて価格的に安定させ地域農業の活性化を促進していきたいと思っています。なお、加工場の建設等についてはJAで計画されているようです。

Q ミシマサイコ等の契約栽培の推進とは

A 契約栽培を推進し事業拡大を図る

質問

第一次産業の復

活の中でミシマサイコ等の契約栽培を推進し事業支援を行い、事業の拡大をしていきたいということですが、現在本町生産組合はあさぎり町の薬草生産組合に入っているようですが、今後、どのようにして面積を拡大し推進していくのか町長の考えは。

町長 今後2町だけでなく、人吉球磨郡で栽培しており、できるだけ一本化していくことを協議しながら推進していきたい。

本町でも多良木町薬草生産部会を昨年10月設立したので、



製薬会社と契約しているミシマサイコの花

関係市町村で推進していきたいと思います。

松崎 農林課長

本町の今年のミシマサイコの栽培面積は12戸の農家で二・五haを予定しています。

全ての質問事項

- ① 町長の3期目の公約について
- ② 指定管理者による施設管理について



久保田悦子議員

質問 TPPについて、安倍首相は米大統領と『聖域無き関税撤廃』は前提でないことを確認した」として交渉参加を表明した。しかし、TPPでは、重要品目も7年から10年で段階的に関税を撤廃するところが、参加国で基本的に合意されている。また、後で参加した国には、合意済みの部分そのまま受け入れ、議論を蒸し返さないことが求められる。参加すれば、農業は壊滅的になり食糧・医療・保険・公共事業も守れず、失業者も350万人以上増える。町ではどう対応されるのか。

Q TPPの町の対応は
A 町でも反対していく

町長 TPP問題につきましては、議会でも反対意見書を提出されますので、執行部としても提出したいと思っています。郡の町村会定例会においても議題にあげて対応していきたいと思っております。情報の確認をしながら、数字的には正確に把握はしていませんが、本町においては農業が一番影響があると思いますし、農業分野だけではなくということも理解しています。もちろん病院

の問題もありますし、多岐に渡りますので、周知をし、地域にとつて良いことであれば賛成し、そういうことがない限り当然反対をしていきたい。

の町でも反対していく



心配される稲作

Q 敬老年金の復活祝い金の増額は
A 祝い金で高齢者の支援を対応

質問 湯前町では、80歳以上の高齢者に毎年、敬老祝い金1万円が支給されている。敬老年金の復活や祝い金の増額はできないか。

前田 健康・保険課長
25年度は、100歳到達者の方に5万円、米寿の方に5千円、新敬老者の方に2千円で予算計上しています。敬老年金制度につきましては、他の町村もほとんど廃止されており、本町も今のところ祝い金で対応しています。



高齢者によるグラウンドゴルフ大会

町長 高齢者の方の年金等々についても厳しい実情は、よく理解しております。今回祝い金を少し値上げしました。財政を考えたとき、毎年ということではなかなか厳しい問題もありますが、医療費・ごみの減量等の部分を頑張つて捻出しながら高齢者の支援に努力していきたい。

全ての質問事項

- ① TPP（環太平洋連携協定）について
- ② 入札問題について
- ③ 公立病院問題について
- ④ 高齢者対策について
- ⑤ 介護保険施設が抱える課題や問題点について
- ⑥ 生涯学習センター建設について
- ⑦ 川辺川問題について



林田俊策議員

Q 福祉タクシー券は公平感を持って

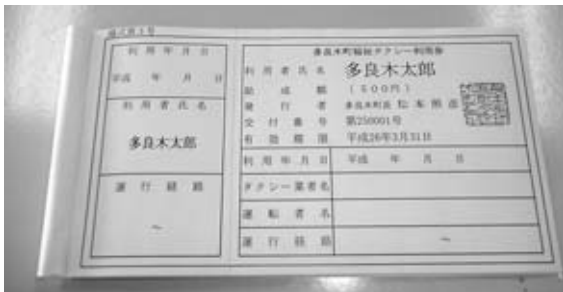
A 今回はこの様な基準でやる

質問 「福祉タクシー券発行事業」は、議会も高く評価している事業ではありますが全ての80歳以上の高齢者の方々や障がい者の方すべてに配布されるものではなく、「1回に500円券1枚だけと使い勝手が悪く公平感がない」と思われます。他町村を参考にするのはいいのですが、今後は正していくべきではないか。

町長 単に80歳以上の高齢者や障がい者の等級別に関係なく発行するのではないので不公平であるように感じられますが、いろいろなケースがあり今回はこの様な基準でやらせていただきます。

前田 健康・福祉課長 近隣の町村ではこの事業がないところもあります。実施している

町村の事例を参考にしています。1日500円ではなく「1回につき500円」ということで限定して今回は使用していただくこととしました。



福祉タクシー券

Q ゴミ減量運動の効果が上がらない原因は
A 意識改革の徹底化を図りたい

質問 「1日に1戸100g

ゴミ減量運動の成果はあがっていない」と施政方針のなかにありますが、その理由は何であり、また、リサイクルの量も年々減少傾向にあるとありますがその原因分析と対策は。

平川 町民福祉課長

町内の各家庭からでるゴミの量は全世帯で100㌫減らすと年間140㌫となり、処理費用が推計約500万円の削減になります。そして地球環境を守る運動にもつながると思えます。しかし22年度と23年度比較すると約10㌫増えており、リサイクルの量が減少して資源ゴミが



意識改革が必要な生ゴミ出し

「ゴミとしての増加」の一因となる傾向があるようです。

町長 「生ゴミの水きり」が出来ていないのが最大の原因と考えられ、区長の方々やあらゆる機関との協力体制のもと、今後とも町民の意識改革を図っていきたいと思います。

全ての質問事項

- ① スマートインターチェンジ法定協議会について
- ② 木造住宅建築支援事業について
- ③ 学校米飯給食のコメ代助成について
- ④ 出生祝い金について
- ⑤ 学童クラブ施設について
- ⑥ 福祉タクシー券発行事業について
- ⑦ 光ブロードバンドについて
- ⑧ 「1..1..100運動」について
- ⑨ 「浄水型」プールについて
- ⑩ 石倉改修事業について
- ⑪ 職員研修の方針について

槻木集落支援員「月額40万円」の根拠は…。

本会期中21本の議案と3本の発議を原案どおり可決したなかで議員の執行部との白熱した論議が交わされる。

■議案第4号議案「報酬・費用弁償」の条例改正で「槻木集落支援員」の月額40万円を追加可決した。

議員からは「末期的と答弁があつた槻木集落を何とかすべきであるという思いは同じであるが」この「40万円という金額が高すぎるのでは」「他の集落もすべきではないか」「支援員の年齢制限はいかなる理由か」「どこまで何をプラン化してあるのか」等といった質疑が5人の議員から行われた。

町としては「最高限度の40万円としての金額で役場職員の平均的給与金額であるという根拠や今回はモデル事業と考え、のちに他地区も考えて行くつもりである」というまた、「中核的世帯の夫婦の年齢を考えて支援員を配置し、地域力の向上と融和を図り活性化させていただく事業に取り組む」との答弁がなされ原案どおり可決しました。

議案第18号「町営住宅条例改正」については「入居者や同居親族が税金等を滞納していないこと」が追加されたことに対しては「入居資格要件に法の趣旨・目的に照らし合わせ税の公平性の観点から追加規定し、たとえば行政財産の目的外使用という法の規定の中で期限を決めて使用可能な事例として対応していきたい」という答弁があり「討論」となり賛成11、反対2（久保田・源嶋両議員）で採決しました。

このように提出された議案の中で白熱した活発な論議が交わされています。

再度

「TPP交渉参加を行わないことを求める意見書」提出!!

このことについては、すでに平成23年10月28日付け町議会議長名で「環太平洋パートナーシップ協定」交渉に断固反対する意見書を当時の衆参両院議長及び内閣に提出したところです。

しかし、今回、安倍内閣により正式に交渉参加が表明され町議会としては、食料の供給を海外に依存し、国の将来に向けた農業振興・食料自給への意欲を削ぐものであるため、安易な交渉参加を決める姿勢に断固反対することを平成25年3月13日付け（安倍首相の正式表明は3月15日）で、町議会議長名の書簡により、再度、衆参両院議長と内閣宛てに提出したものです。

研修①

治水対策の共通認識を検討する研修会

平成25年2月18日、深田せきれい館において「ダムによらない治水を検討する場について」と題して、議員研修会が行われました。

平成20年9月11日県知事による「現行の川辺川ダム計画を白紙撤回」するとの表明がなされましたが、これを受け、同年10月28日、国土交通大臣と県知事が「ダムによらない治水を検討する場」の設置を合意しました。

この「場」の目的は、地域に愛される球磨川づくりを行うため、川辺川ダム以外の治水対策の手法について検討し、地域の安全に責任を負う者が認識を共有するというものです。この検討会議は、国県、及び球磨人吉10市町村に八代市・芦北町を含む12市町村の首長が会し、平成21年1月13日から通算9回にわたり協議が重ねられてきました。これを受け、幹事会が、平成23年10月31日から計4回開催、私たち議員は今後も、この「場」については注意を払いつつ問題意識を共有しながら、住民の皆様へ情報の提供を続けていきます。



議論沸騰の研修

研修②

議員が知っておきたい危機管理とは

平成25年2月25日、アンジェリーク平安において市町村アカデミー客員教授、大塚康男氏を講師に招き「議会議員が知っておきたい危機管理」と題して研修会が開催されました。

「常日頃から住民の代表たる議員として住民の方々の視点から見たときに正しい行動を取っているか、自らを正しく律しているか」という観点（議員自身の危機管理）から事例を交えた講話がありました。

また、兼業の禁止、例えば議員は町と直接請負をし、またはそれと同等な関係に立つことは許されず、これを「兼業禁止」といいます。その兼業状態が違法とみなされた場合は常任委員会の議決を経たうえで本会議の議決により、失職する場合があります。また、手続きは異なりますが町長・副町長にも兼業の禁止規定があります。これら「兼業の禁止」については議員の法の遵守と併せ、行政をつかさどる者みずからの法の遵守、すなわち、両面からの「危機管理」という意味で、一度整理してみる必要があると思われます。



「目からうろこ」聞き入る議員たち

(吉瀬)



泳げ鯉のぼり

議会委員会シリーズ ④

■ 厚生文教常任委員会

厚生文教常任委員会委員 委員長 村山 昇 副委員長 久保田悦子
委員 瀬崎 哲弘・皆越 秋廣・矢立 信一郎

所管の担当課 町民福祉課：戸籍住民登録係・福祉係・生活環境係
子ども対策課：子育て支援係・第1保育所・第3保育所・多良木学園
健康・保険課：高齢者支援係・健康増進係・保険年金係
教育振興課：学校教育係・社会教育係・学校給食センター

定例会議の会期中に於いて、厚生文教常任委員会所管課より、各種事業内容・進捗状況の説明を受け、質疑します。

3月の定例議会終了後の閉会中の継続審議の内容

- (1) 最低保障年金制度の創設を求める陳情
- (2) 改正介護保険制度の充実に関する陳情書
- (3) 安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情書
- (4) 学校図書館の蔵書整備・充実に関する陳情書
- (5) ふたたび被爆者をつくらないために現行法(原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律)の改正を求める議会決議・意見書採択の要望書
- (6) 放課後児童対策に関する事項及び施設調査
- (7) 後期高齢者医療制度について
- (8) 子育て支援事業等に関する事項について
- (9) 公共施設の災害対策について
- (10) 総合型地域スポーツクラブについて
- (11) 多良木学園に関すること

以上の審査及び調査をします。



高森町での視察研修

編集後記

ひさかたの 光のどけき 春の日に
静心(じやうしん)なく
花の散るらむ

四月に入り、今年の桜は数週間ほど開花が早かったようでしたが、雨のせいもあり今年は残念ながら忙しくて花見に行けませんでした。

二月の「町長選挙に町議会補欠選挙」それから「新人研修」と「三月定例会議」の前の「一部事務組合等の議会」に次に「町の定例議会」そしてそれが終わり「議会だよりの編集」それから「上京陳情」とあわただしく月日が流れ行きます。落ち着いた心もなしに「もののあわれ」を感じることなく過ぎ去っていったしまったような感じがしています。

議会だよりの編集も終盤にはいり当然ではあるが前回のメンバーも変わり新参者として関わってみて編集の仕方や内容も様変わりして戸惑いもあったが何とか発行にこぎつけることが出来た。少しでも多くの町民の方に読んでもらえるようにできたかな。

もう一度深呼吸をしてしっかりと「町民のために何をなすべきか」を考えよう。ヨットだけ肩の力を抜いてみよう。

林田俊策

広報特別委員会構成

◎瀬崎 哲弘 魚住 憲一
○坂口 幸法 村山 昇
吉瀬浩一郎 林田 俊策